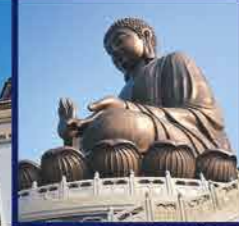




香港政府觀光局



# 香港 Hong Kong 教育旅行マニュアル



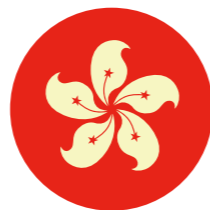
# 基本情報

中国と西洋を取り込み、独自の文化を育んできた「香港」。刺激的で新鮮、多彩な表情を見せる街をぜひご覧ください。

## Basic Information



- 正式名 ..... 中華人民共和国香港特別行政区
- 人口 ..... 約748万人(2018年12月統計 うち漢民族が95%占める)
- 面積 ..... 約1,104km<sup>2</sup>
- 公用語 ..... 広東語・英語
- 通貨 ..... 香港ドル(HK\$1 ≒ 15円 2019年3月現在)
- 気候 ..... 亜熱帯気候
- 日本との時差 ..... マイナス1時間(日本が午前9時の場合、香港は午前8時)



- 香港は主に、九龍半島、香港島、新界の3つの地区に分けられていて、その中に260の島々があります。
- 香港は、世界でも類を見ない一国二制度\*の下、治安もよく、西洋と東洋の文化の融合された面が見られます。  
\*香港特別行政区政府は政治、外交、国防を除き、「香港特別政府基本法」による高度な自治権を持ち管理しています。
- 「食の都」としても名高く、香港特別行政区政府の徹底した管理で安心して食事をお召し上がりいただけます。

- 香港全土の約40%が手つかずの自然、カントリーパーク(日本の国立・国定公園)となっていて、その一部は、世界ジオパークに認定された「香港ジオパーク」となっています。
- 中国近隣都市である深圳(シンセン)、マカオ、広州へは、広深港高速鉄道、MTR(鉄道)、フェリー、車\*でアクセス可能 \*港珠澳大橋が2018年に開通
- コンパクトな都市なので、ビジネス街から、郊外への移動も30分程度。公共交通機関も発達しているので、視察ポイントから次の場所への移動も容易です。

# 交通機関

香港の交通機関を利用すれば、班別行動も便利！大変移動しやすい交通網を活用して、簡単に目的地に行くことができます。

## Transportation facilities

スターフェリー、トラム(2階建て路面電車)、鉄道(旧九広鉄道と地下鉄(MTR))は、100年以上の歴史があります。上級者向けとしては、市バス、ミニバス利用。また、時間を短縮したり、最寄駅が無い場合にはタクシー利用で。

### スターフェリー

1880年、インド商人が渡し舟の営業開始、その後1898年よりスターフェリー社が独占で運行権を獲得。尖沙咀から中環、湾仔の2地点を結んでいる渡し船。8隻ある船の名前には必ず「星」がついています。尖沙咀-中環上層2.7ドル(約40.5円)週末は3.7ドル(約55.5円)



### 2階建て路面電車(トラム)

1904年始業。香港島のみでの運行で、区間に関係なく大人HK\$2.6、子供(3-12歳。3歳未満は無料)HK\$1.3、65歳以上はHK\$1.2)。6つのルートの中全長を合わせると30km、停留所の名称やアナウンスが無いので、車窓からおりる場所を判断。早朝5時から深夜まで運行しています。



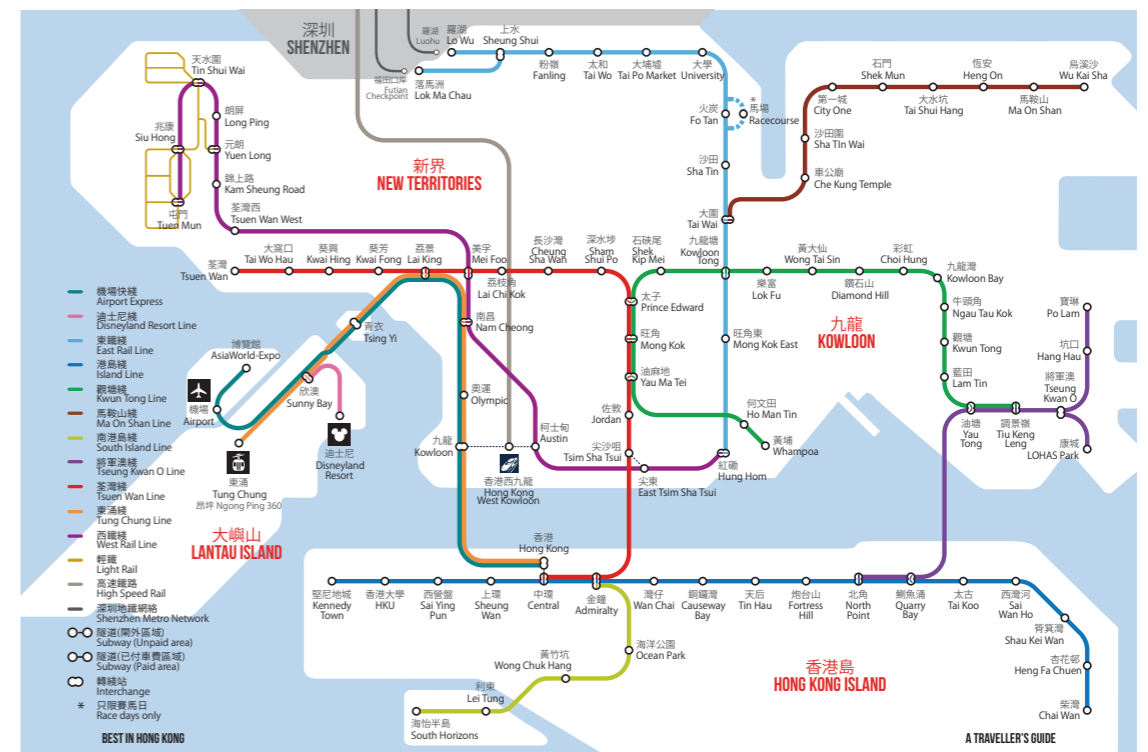
### MTR(地下鉄)

1979年始業、2007年にはKCR(旧九広鉄道 1910年始業)を吸収し、エアポートエクスプレスやディズニーランド・リゾートラインを含めた全部で13路線を持っています。主要ホテルや観光地をカバーしているので、1日乗車券利用(大人HK\$65)がお勧め。1日乗車券の時間換算は、初めて通った駅の改札から始まり、24時間以内使用可能です。



### タクシー

香港のタクシーは、営業区域によって色分けされています。九龍・香港島は赤、緑は新界地区、空色はランタオ島内となっています。初乗り料金は、はじめの2キロはHK\$24(新界地区HK\$20.5、ランタオ島はHK\$19)



# 歴史 HISTORY

## 多彩な表情を見せる香港の歴史を知る。

中国返還後、今なお日本から多くの観光客が訪れる国際都市「香港」ですが、意外にもその数奇な運命や日本との歴史的な関わり合いは知られていません。基本的な歴史に触れ、視野を広げることで、より意義深い旅となるでしょう。



## 古代

香港に、初めて人々が住み始めたのは紀元前5000年頃のこと。

「越(ユエ)」と呼ばれるインドシナ半島からの船乗りたちだったと言われています。

現在、香港の人口の多くを占める「広東人」が香港に定住し始めたのは、14世紀に入ってからのことです。清らかな水と温暖な気候に恵まれたこの土地で、彼らは米、茶、香料、パイナップルなどを栽培するようになりました。豊かな自然の港をいただくこの地域は、香木の積出港として栄えたことから、やがて「香港」と名付けられたと伝えられています。

## 中国動乱期

中国国内の内乱の時期には多くの難民が香港に流入してきました。

彼らは、香港の活力となってその発展に貢献しました。そこから長江集団を率いる李嘉誠など世界的実業家も生まれ、努力をすれば夢をつかむことのできる「香港ドリーム」の場所として現在も認知されています。



## アヘン戦争

1840年、イギリスとの間で「アヘン戦争」が勃発します。

当時イギリスの商人は、清の銀、絹、茶、香料などをアヘンと交換し、莫大な利益を得ていました。国民への悪影響を懸念した清朝廷は、アヘンの輸入を禁止しますが、これを不服としたイギリス商人たちは議会を動かし、戦争へと発展させます。

これに勝利したイギリスは1842年「南京条約」を清との間に結び、香港島を永久割譲、1860年には九龍半島とストーンカッターズ島を割譲、1898年には新界を99年間の期限付きで租借します。

ここから香港の植民地時代が始まったのです。

## 返還

1997年7月1日、イギリスから中華人民共和国への返還。



1997年7月1日のイギリスから中華人民共和国への返還の際、中華人民共和国当局は「返還後50年間政治・経済・社会体制を変更しない」ことを確約し、世界で初めての「一国二制度」を制定しました。これにより、香港基本法と呼ばれる憲法の下、社会主義国家にありながら高度な自治権を有し、資本主義制度と生活様式を保持しています。

返還後も人々の生活に大きな変化はなく、年月が経過した現在でも「一国二制度」は順調に推移し、1999年に返還された澳門(マカオ)の道標にもなっています。

## 現代とこれから

### アジアと世界を結ぶ国際金融都市香港

香港は、現在もアジアと世界を結ぶ国際金融都市のひとつとして発展を続けています。

世界中の金融機関をはじめ、日本からは製造業や飲食業も多く進出。香港は貿易の中継地であり、外国企業が香港に設置した拠点数は増えており、特に日系企業の拠点数は多い。アジアの中心に位置する香港の地理的優位性を活用し、中国、台湾などを含めた国・地域の業務を統括すること拠点としての利点があります。

近年は中国本土等に工場を移す企業も増えてきましたが、依然として中国・アジア全域で、重要な役割を果たしています。特に、2017年は香港からの訪日旅行者数は2,231,500人(21.3%増)で過去最高を記録。また、2007年に米国を抜き、日本の農林水産物の輸出先は香港が連続世界一位を更新中。2018年には日本の総輸出の23.3%、2,115億円分の農林水産物・食品を香港がしています。(出所:ジェットロ農林水産・食品部)

このような香港での日本ブームの中、東京や大阪などの大都市に加え、地方を訪れる香港人観光客が増加しはじめています。そのため、航空会社は香港と日本地方空港への航空路線の拡充が続いています。



## 香港の歴史年表 ～アヘン戦争とその後～

- 1840 アヘン戦争が勃発
- 1842 南京条約で香港島を清朝からイギリスに永久割譲
- 1860 北京条約で九龍とストーンカッターズ島を割譲に追加
- 1898 第2回北京条約で新界588平方キロメートルを99年間の期限付きで租借
- 1941 太平洋戦争(第二次世界大戦)勃発により日本軍が香港を占領
- 1945 日本の敗戦によりイギリスの植民地に復帰
- 1967 文化大革命の影響を受けた共産党系住民が暴動を起こす
- 1984 イギリスのサッチャー首相と、中華人民共和国の趙紫陽首相との間で租借地と割譲地域の返還に合意
- 1992 最後の香港総督であるクリストファー・パッテン就任
- 1997 租借地と割譲地域をイギリスから中華人民共和国へ返還

# 文化 CULTURE

## 東洋と西洋が共存する香港の魅惑。

香港は、中国文化と西洋文化をミックスした独自の文化を築いてきました。私たち日本人にとっても、エキゾチックで好奇心をかきたてられる、どこか親しみやすい香港の文化に触れてみましょう。

## 「食の都」香港

中国には「おいしいものを食べながら、食によって健康を維持し、病気も治す」という「医食同源」という考え方があります。

足が悪いときは鶏の脚の料理を、疲労回復には漢方スープといった人々の知恵が食生活に浸透しており、中国全土からもたらされた郷土料理は、香港の人々の舌によってさらにおいしい料理へと完成されています。また、日本でも最近話題の中国茶は製造方法だけでも6種類もあり大変種類が豊富です。



## 香港スイーツ

数え切れないほどデザート(甜品)店がひしめく香港。種類も豊富でフルーツを使ったものから伝統的なものまで、医食同源の精神のもとに身体に良い食品が使われ、元気に、キレイになれるものが多くあります。

### マンゴープリン

マンゴーの果肉をふんだんに使い、食感を楽しむ日本でも人気のデザート。



### 蓮蓉餡まんじゅう

蓮の実で作られた蓮蓉餡は、小豆とは異なる甘味が楽しめる。

### 高力豆沙(ゴウレットウサー)

小豆餡をメレンゲで包んだ揚げ菓子で、弾力のある皮が特徴。



### カエルの脂肪とツバメの巣入りココナッツミルク

美容食品として注目のカエルの脂肪入り。お肌もピッカピカになるかも。

### エッグタルト(蛋撻)

卵の味が濃厚なカスタードをパイ皮でつつんだデザート点心。



### 亀ゼリー(亀苓膏)

カメの腹甲、ドブクリョウなどの生薬で作るため苦味があり、シロップをかけて食べる。香港を代表するデザート。

### パイヤミルク(木瓜牛奶)

パイヤの香り豊かなフルーツ牛乳。他にマンゴー、バナナなどもある。

## 代表的な中国料理

### 広東料理 Cantonese

「食在広州」でも知られる人気の料理。海鮮が多く味はさっぱりしている。



### 北京料理 Peking

宮廷料理に端を発し、肉料理を中心に冷めてもおいしい濃い目の味が特徴。

### 四川料理 Sichuan

盆地で湿気が多いため、辛さで発汗し健康を維持するために香辛料を多く使う。

### 潮州料理 Chiu Chow

全体的に軽くまるやかな味で、野菜を豊富に使ったものが多い。料理によって異なるソースをつけて食す。

### 上海料理 Shanghai

揚子江河口の肥沃な土地のため、食材も豊富。砂糖や醤油を多用した甘みある濃い目の味が特徴。

### 飲茶 Dim Sum

お茶を飲みながらセイロウ(蒸籠)に入った点心を食べる、広東省に伝わる食文化。今ではランチで定着している。



## 中国武道

日本でもおなじみ映画スターのジャッキー・チェンなどによって知られるカンフー、体と精神を共に鍛える太極拳など、中国には様々な種類や流派の武道があります。

朝の公園では太極拳をする人でいっぱい。一声かけて仲間に入ってみましょう。



## 芸術

最盛期には年間300本もの映画が製作され、映画産業が大変盛んな香港。

近年では、香港の映画監督や俳優が、ハリウッドや日本など、海外でも活躍する機会が増えています。

香港は、中国の伝統文化を受け継ぎ発展させている一方で、海外との文化交流にも積極的です。毎年春に行われる香港アートフェスティバルには、世界各地から著名なアーティストが参加。音楽、舞台劇、ダンス、ビジュアルアートといった様々な分野で質の高いパフォーマンスを繰り広げています。



## 多様性に富む香港

世界に名高い香港映画、100万ドルの夜景と称される街並み、新たな観光スポット、史跡や歴史的建造物、人気の香港ディズニーランドなど様々な人々や生活が集まり作り上げられた、スケールの大きな都市「香港」。あらゆる魅力が凝縮された香港の、新しい文化に触れてみましょう。

### オールド・タウン・セントラルを歩く 中環(セントラル)の古跡

香港には114の指定記念物があり、古跡を訪ねるヘリテージ・トレイルをたどれば、香港の歴史に触れることができる。これまでに16のユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞を受賞している。たとえば、1875年ごろに作られ、現在もまだ使われているガスの街灯、香港で2番目に古い建築物のセント・ジョーンズ教会、フラッグスタッフ・ハウス茶具文物館、スタチュー・スクエアの記念碑などがある。2018年には「大館」という(前セントラル警署建築群)新しいスポットもオープン。

### 港の夜空を美しく彩る シンフォニー・オズ・ライツ

香港島や九龍半島のハーバーサイドにある、約40棟の高層ビルや建物に設置されたサーチライトやレーザー光線で、100万ドルと称される香港の夜景を、一層華やかにするシンフォニー・オブ・ライツ。毎晩20時から約10分間行われ、光のシンフォニーが訪れる人や場所を幻想的に照らす。ギネスワールドレコードにも「世界で最も大規模な常設の光と音楽のショー」と認定されました。



## アミューズメント

日本からのアクセスも便利な「香港ディズニーランド」では、他にはないユニークなテーマランドやアトラクションが楽しめる。その他1日たっぷり遊べるアジア最大規模の海洋公園「オーシャン・パーク」もあり、滞在を1日のぼしたくなるほどの魅力がたくさん。

### 丘陵地に広がる、一大アミューズメント オーシャン・パーク

香港島南部の起伏に富んだ広大な土地に、コンセプトの異なる7つのパークを有するオーシャン・パーク。海の生き物をテーマとしたマリーン・ランドや山頂には遊園地もある。



### 本物さながら、リアルな蠟人形 マダム・タッソー蠟人形館

ピーク・タワー内にあるマダム・タッソー蠟人形館には、香港のトップスターはもちろん、世界各国のスターや著名人の蠟人形が並ぶ。薄暗い間接照明の効果もあってか、蠟人形がより一層リアルに映る。



# 自然 NATURE

海と緑と山々、香港のパノラマを愉しむ。

「100万ドルの夜景」の異名からも、超高層ビル群が立ち並ぶイメージの「香港」。ところが、実際は領土の40%がカントリーパークに指定されている自然の宝庫でもあります。日本とは違う亜熱帯気候特有の動植物や生態系に身近に触れ合うこともできます。



## 香港ウェットランド・パーク

渡り鳥の大群や湿地帯に住む生物など、世界でも珍しい野生生物が観察できる広大な公園。マイポー自然保護区に隣接した約60haの自然のままの園内には、普段見ることのできない貴重な鳥や絶滅寸前の鳥など、150種類以上の鳥類と、250種類以上の生物が生息しています。



## マイポー 米埔自然保護区

香港北西部、中国大陸との境に位置する380haに及ぶ湿地帯。渡り鳥の聖域となっており、絶滅危惧種に指定されている珍しい鳥のほか340種類以上の鳥の飛来が確認されている。その他マングローブ保護区もあり、多数の海洋生物の生育場もある。



## 大帽山郊野公園

海拔957mという香港で一番高い山の大帽山は、最も雨量が多い山であり、大量の水が昆虫、爬虫類、両生類などの生物を養っている。また香港最大の谷シンムン(城門)周辺の亜熱帯雨林には貴重な野生生物が多く生息し、パーク内には270種を集めた植物園もある。



## 獅子山郊野公園

香港市外から比較的近く、九龍半島を見下ろす山頂からの眺めが絶景。獅子山(ライオンロック)の名前は、頂上のシルエットがライオンの頭の形に似ていることに由来。ハイキングコースとしても知られ、地元の人に大変親しまれている。



## ラマ島(南丫島)

香港で3番目に大きなラマ島は、変化に富んだ野生的で荒々しい自然が多く残る。海洋資源と考古学資源が豊富で、最南端のシャム湾にはアオウミガメが産卵に訪れるなど、空気も澄んだのどかな雰囲気がある。自然を堪能しながらのハイキングも人気がある。



## チュンチャウ島(長洲島)

車が一台もない「静寂の島」の長洲島は、2.4平方kmと面積も狭いが街中は迷路のように入り組み、路地には乾物屋、雑貨屋といった昔ながらのたたずまいも残る。中心となる東灣は、夏には多くの人でにぎわうビーチが人気。



## 香港ジオパーク

2011年9月にユネスコ認定「世界ジオパーク」に認定された。地球科学的に見て貴重な地質遺産が見られる自然公園。白亜紀の貴重な地層などが見学できます。地質遺産を一番見に行きやすいのが「ハイアイランド・ジオトレイル」です。イーストダムに沿って並ぶ六角柱状節理群の断層は見ごたえがあります。

ハイキングコースが多く  
見どころがいっぱい!

# レジャー・ アイランド ランタオ島

ランタオ島(大嶼島)は香港で一番大きな離島で、壮大な自然が残ります。

1998年、島の北側にあるチェック・ラップ・コック(赤鱸角)に香港新国際空港が誕生し、香港の新しい顔となりました。壮麗な山々と美しいビーチに恵まれたこの島は、仏教寺院や古代遺跡などの見所も多彩。中でも一番のポイントは、香港最大級の仏教寺院ポーリン(寶蓮)寺。屋外ブロンズ製座仏としては世界最大級の天壇大仏を参拝しに、多くの人がこの寺を訪れます。

がこの寺を訪れます。

2005年にオープンした香港ディズニーランド、2006年にオープンの「ゴンピン・ビレッジ」など相次ぐレジャーランドの建設によって、ランタオ島は観光スポットとしても注目を集めています。全長5.7kmのケーブルカー「ゴンピン360」に乗れば、空中から天壇大仏の見物もできます。

## ゴンピン360

全長5.7kmを、空港近くの東涌からポーリン寺の天壇大仏まで約25分間かけて登る。これまでの香港とは異なる南シナ海と香港の自然のコントラストが堪能できる。



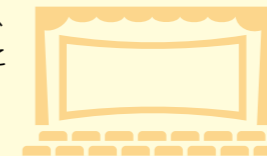
## 香港国際空港

ランタオ島北側埋立地に1998年開港。市街へのアクセスが非常によく、エアポートエクスプレスに乗れば、チムサアチヨイまで20分、セントラルまで23分で到着。



## ゴンピン・ビレッジ

1.5haの広大な敷地に、仏陀ウォーキング、五感で楽しめる映像シアターのモーション360、菩提許願亭などのアトラクションがあり、様々な歴史文化に触れることができます。



## 大澳(タイオー)

運河上に張り出した水上家屋が並ぶ漁村。貝類や魚の干物を売る店が多い。



## ポーリン寺

1906年に建立された香港最大級の仏教寺院。世界最大級のブロンズ製座仏「天壇大仏」は高さ34m。香港仏教のシンボリック的存在。



## ハート・ストラ

260の文字からなる秘蔵書「ハート・ストラ(般若心経)」を、38本の木柱に、昔ながらの書体を使って彫り込んだ心経の道。ポーリン寺から徒歩10分ほどの場所にある。



## TOPIC

### 六角形岩柱 columnar jointing

岩石中に発達した六角形の柱状の割れ目で、自然が作り出した地形を「六角柱状節理」と呼んでいて、高さが100m級の大きなものが香港ジオパーク(萬宜ジオトレイル)で見られます。



### バウヒニア Bauhinia

香港の市花は、硬貨や特別行政区の区旗デザインにも使用されているバウヒニア。蜘蛛のような花びらをつけたバウヒニアは春先には咲き、人々の目を楽しませている。



# 建築

## BUILDING

香港特別行政区政府は歴史的価値のある中国の伝統的な建物、イギリス統治時代を垣間見ることが出来る建築物を積極的に保護し、再利用に努めています。また、風水によるユニークな形の建物など、それを見るだけでも歴史や文化を知ることが出来ます。世界遺産登録はありませんが、ユネスコのアジア文化遺産となっている建物も見られます。

### 香港島



#### マレーハウス [Murray House]

1846年に香港島中環(セントラル)地区に建てられた最古のビクトリア洋式の建造物で、英国軍士官本部として利用されていました。香港特別行政区政府は移築を計画していたので、ブロックに番号をふって保管、石は全部で3000個あり(一部は新規)複雑なパズルをくみ上げるようにして、スタンレー地区に移設しました。現在は商業施設として利用されています。



#### 文武廟 [Man Mo Temple]

1847年、香港が英国領になって間もない頃に建てられたといわれている最も古い道教寺院。学問の神(文昌帝)と武の神(関帝)が祀られています。



#### セント・ジョンズ教会 [St. John's Cathedral]

セントラルの中心街にあり、極東アジア地区の中では最も古い教会とされています。礎石は1847年3月11日にジョン・デビス総督によって敷かれ、1849年に完成しました。建物は13世紀のイングランドのゴシック様式で装飾はいたって簡素です。



#### 旧香港総督府 [Government House]

1855年完成、立法会の議場としても1930年まで利用されていました。その後は、1997年まで香港総督の住居として利用されていました。ネオルネッサンス建築に加え、第2次大戦中に日本人建築士の藤村正一が携わり、ジャパニーズネオクラシカルフォームと呼ばれるものを取り込み、屋根にはその特徴がみられます。



#### 最終法院 [Court of Final Appeal]

1902年ルガード総督の時、オープンしたこの2階建ての建物は、御影石のイオニア式石柱と切り妻壁、屋根の上の目隠しをしたギリシャ神話のテミス - 「司法の女神」の彫り込みが象徴的です。デザインは、バッキンガム宮殿などを手掛けたイギリス建築家によるもので、ネオクラシック建築です。1912年から1985年までは最高法院、その後2011年まで立法会議事堂として利用されていました。



#### ウエスタンマーケット [Western Market]

1844年に香港の初の市場として開業、1858年南ブロック建造、1980年にはこれが解体されました。現存しているのは、北ブロックでエドワード建築様式がみられます。4つのコーナーを覆うレンガ造りのタワーはそれぞれのレンガ色に変化が見られます。当初は青い壁でしたが、建築様式に合わせるため、赤く塗られました。



#### PMQ [Former Hollywood Road Police Married Quarters]

2000年まで既婚者用の警察官宿舎として利用されていたもので、2010年より重要文化財指定建造物(香港三級歴史史建築)となっています。現在の建物は1951年に建築されたものなのでそれほど古さはありませんが、この場所は1889年に香港初の中学校で孫文も通った中央書院(The Government Central School、1862年に開校、現在は皇仁書院/Queen's Collegeの名で銅鑼灣(コーズウェイベイ)にあったものが、移設された場所としても有名で香港教育発展の場所と位置付けています。現在は、香港のアートの発信地として有名です。

### 九龍半島 / 新界地区



#### 1881ヘリテージ [1881 Heritage]

尖沙咀の中心地にあり12,077㎡の敷地の中に、植民地時代の名残りが見えるビクトリア様式建築の旧水上警察本部(1884年~1996年)、旧九龍消防局&寄宿舎(1920年~1970年代)、時間球塔(1880年~1907年)、煤気燈、砲台、馬廄舎、中庭で構成されています。(1994年に消防署を除く建物が香港重要文化財指定を受けています。)



#### 美荷樓 [Mei Ho House]

美荷樓は、香港最古の公団住宅の一部でした。火災で家を失った何千人もの住民のために1954年に建設された29棟のコンクリート住宅の中で、現在、まだ立っているのは美荷樓のブロックのみ。今では珍しいH型の構造が特徴です。香港ユース hostel 協会(YHA)は、歴史的建造物を見事に再生させ、2013年10月にYHA美荷樓青年旅舎(メイホーハウスユースホステル)としてオープンしました。現在は、一部を博物館として、寄贈品とかつての住民の話を組み合わせた展示で、1950~1970年代の石硤尾団地の歴史を紹介しています。



#### 九龍寨城公園 [Kowloon Walled City Park]

九龍城は、18世紀後半から海賊捕獲や航行の確認など軍事的な地理的優位性から、既に烽火台や砲台として利用され、中国軍が駐屯していた場所でした。1846年(道光26年)には、道光帝の許可を得て、正式に九龍寨城の建設が始まり、翌年完成しました。1860年アロー号戦争後の北京条約で英国が九龍半島先端を永久租借権を獲得した時、この場所が「飛び地」となり、更に1898年の新界地区を含めた永久租借の際も、この場所の記載がありませんでした。これが後に、「誰の手にも及ばない土地=九龍城」となった発端です。その後、幾たびの英中の介入、変遷を経て、九龍城砦の跡地に1996年1月公園になりました。



#### 志蓮淨苑 [Chi Lin Nunnery]

2000年、南蓮園池の隣りに建築されたた仏教寺院で、唐代の木造建築を再現しています。本堂を含め、8万個以上の木材は、釘を使わずに繋ぎ合せているユニーク建築法を見ることが出来ます。



#### 松嶺鄧公祠 [Tang Chung Ling Ancestral Hall]

粉嶺にある香港で一番大きい祠堂です。1525年に龍躍頭の始祖・鄧松嶺(1302-1387)を祠ために建てられた鄧家代々の会堂で、建物全体はすばらしい木彫り、カラフルな色漆、セラミックの彫刻、および壁画で縁起のいい中国のモチーフで装飾されています。1991年には香港ジョッキー・クラブや政府化機関からの寄付を受け大規模な復元作業が行われ(完成は、1992年半ば)ました。1997年香港の文化財指定建築物登録されています。



#### 大夫第 [Tai Fu Tai Mansion]

1865年科挙に合格し高官となった「文一族」の一員が建てた住宅。花崗岩と灰色のレンガで建てられました。屋根には陶器の像や柱の彫刻、壁画が美しいのが特徴です。



#### 老圍城壁村 [Entrance Tower & Enclosing Walls of Lo Wai]

香港特別行政区政府によって1999年に設定された新界で2番目の文物径(Historical Trail)。南宋の王が逃げてきた折、錦田の鄧氏の一族の鄧惟汲と結婚しその長子が元朝時代にこのあたりに移り住み村を起こしたのが始まり。その後、村は発展し、現在見られる「五圍六村」になりました。

# 博物館 美術館

香港の歴史、文化を知る上で欠かせない博物館、美術館。  
中国の歴史をたどるもの、東西文化の融合による独自文化や、  
近代史における香港の役割について学べます。

## 香港島

### フラッグスタッフハウス茶具博物館 Flagstaff House Museum of Tea Ware

香港公園内にあるギリシャ復興様式のコロニアル建築物は、1840年代に建てられたもので、もともとイギリス軍総司令官邸として使われていました。以来170年の間に少しずつの改修改装されながらもその姿を保ち続け、第二次世界大戦中の1941～45年には日本軍に占領されるという歴史を経たのち、1984年1月に茶具博物館として生まれ変わり、古くからの宜興・江蘇省製の貴重な陶器などの展示がみられます。1995年にはK.S. Lo Galleryが付け加えられ、磁器や印鑑の展示が増えました。1989年香港重要文化財建造物指定となりました。

■ 開館時間:火曜を除く 午前10時～午後6時(クリスマス、旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:無料 ■ 休館日:火曜(公休日は除く)、旧正月元日とその翌日

● [https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Arts/en\\_US/web/ma/tea-ware.html](https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Arts/en_US/web/ma/tea-ware.html)



### 警察博物館 Police Museum

1976年に開館し、旧ワンチャイギャップ警察署を改装して造られた博物館。イギリス統治が始まった後に1844年に結成された香港ロイヤル警察から現在に至るまでの香港警察史を見学できます。

■ 開館時間:水曜～日曜 午前9時～午後5時 火曜 午後2時～午後5時  
■ 入場料:無料 ■ 休館日:月曜、火曜午前中、香港の公休日および旧正月三日

● <https://www.police.gov.hk/museum/en/index.html>

### 香港電影資料館 Hong Kong Film Archive

香港映画ファンには必見の資料館。建物は大きくタテに2分割され、一方はフィルムや、データの保管倉庫として、また、もう片方はシネマ(映画館)、展示ホール、リソースセンター、など見学出来ます。

■ 開館時間:月曜、水曜～金曜 午前10時～午後8時(クリスマス、旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:無料(但し、館内映画利用は入場料が別途必要:チケット販売は月曜～日曜 正午から午後8時まで) ■ 休館日:火曜(公休日を除く)及び旧正月元日とその翌日

● [https://www.filmarchive.gov.hk/en\\_US/web/hkfa/aboutus/openhl.html](https://www.filmarchive.gov.hk/en_US/web/hkfa/aboutus/openhl.html)

### 香港医学博物館 Hong Kong Museum of Medical Sciences

香港の医療の歴史と発展について、貴重な展示品で紹介しています。

■ 開館時間:火曜～土曜 午前10時～午後5時 日曜 午後1時～午後5時 ■ 入場料:HK\$10 子供(学生) HK\$5 ■ 休館日:月曜、クリスマス休暇及び、旧正月3日

● <https://www.hkms.org.hk/en/home/>



### ステファン・ファイ・ジオロジカルミュージアム Stephen Hui Geological Museum

香港大学ジェームス・リー・サイエンスビル内の2フロアを利用した地質博物館。

■ 開館時間: 月曜～金曜 午後1時～午後6時 ■ 入場料:無料  
■ 休館日:土曜、日曜、大学の開校記念日(3月16日)

● <http://www.earthsciences.hku.hk/shmuseum/index.php>

### 香港大学美術博物館 University Museum and Art Gallery, The University of Hong Kong

香港大学美術博物館は、多彩な年間展示スケジュールに加え、陶磁器、青銅器、絵画など、1,000点以上の中国の遺物を公開。新石器時代から清王朝(1644～1911年)までの資料が含まれます。青銅の所蔵品では、元の時代(1271～1368年)に遡るネストリス派キリスト教十字架のコレクションが世界で最も充実しています。翡翠、木、石の彫刻、中国の油彩画も豊富に所蔵しています。

■ 開館時間:月曜～土曜 午前9時30分～午後6時 日曜 午後1時～午後6時  
■ 入場料:無料 ■ 休館日:香港の公休日、大学の開校記念日(3月16日)

● <https://www.umag.hku.hk/en/>



### 香港海防博物館 Hong Kong Museum of Coastal Defence

2000年7月にオープン、かつて19世紀にイギリス軍が設置した鯉魚門砦(レイユーム要塞)があった場所に作られたこの博物館は、明の時代から現代までの、香港600年の海防史を保存しています。敷地内の展示は、当時建造されたものをできるだけ活かす形で改装整備し展示は3つゾーンに分かれています。

■ 開館時間:午前10時～午後5時 ■ 入場料:確認中 HK\$10 (水曜 無料)  
■ 休館日: 木曜、旧正月元日とその翌日

● [https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Coastal/en\\_US/web/mcd/aboutus.html](https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Coastal/en_US/web/mcd/aboutus.html)



### 香港海事博物館 Hong Kong Maritime Museum

西洋と中国の貿易中継地として発展した香港に欠かせない海事を集約した博物館。2005年にスタンレーに開館の後、2013年セントラルフェリーターミナル8号埠頭に移設されて船舶、造船、海運、海洋開発、漁業や海軍などを含んだ展示が5倍と格段に増えました。

■ 開館時間:月曜～金曜 午前9時30分～午後5時30分 土、日、祝日 午前10時～午後7時 ■ 入場料:大人(18歳以上)HK\$30 子供(18歳以下)、シニア(65歳以上)HK\$15 ■ 休館日:旧正月元日とその翌日

● <http://www.hkmaritimemuseum.org/eng/>



### マダムタッソー蠟人形館 Madame Tussauds Hong Kong

2000年8月にオープンした本家イギリス、マダムタッソー蠟人形館の分館。香港ならではの蠟人形が展示されているコーナーがある。

■ 開館時間:午前10時～午後10時 土、日、祝日 午前10時～午後7時(但し、クリスマス・イブと旧正月前は午後5時閉館)  
■ 入場料: 大人 HK\$290 子供(3-11才)、シニア(65才以上) HK\$240 (学生向けパッケージ、トラムとのコンボチケットあり。またオンラインからの購入で割引あり)  
■ 休館日:年中無休

● <https://www.madamtussauds.com/hong-kong/en/>

### 孫中山紀念館(孫文記念館) Dr. Sun Yat-Sen Museum

香港で医学を学び、革命の思想を懐胎し、辛亥革命を指導したことにより「革命の父」「国父」という呼び名で仰がれる孫文の生誕140年を記念して建てられました。この革命は、日本とも深いつながりがあることで有名です。また、博物館として利用しているこの館は、1914年に建築されたもので、当時としては、とても珍しい鉄筋コンクリート建築様式です。所有者の名前から「甘棠第(Kom Tong Hall)」と呼ばれ、エドワード王時代のクラシカルな趣が随所にあふれ、ステンドグラスがはめ込まれた窓や小さなタイルがていねいに敷き詰められたバルコニー、磨きこまれた手すりなど、保存状態の良さと当時の華麗な暮らしがわかるような美しい建築の良さを生かしたままに改装されています。

■ 開館時間:月曜～水曜、金曜 午前10時～午後6時 土、日、祝日 午前10時～午後7時(クリスマス、旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:無料  
■ 休館日:木曜(公休日を除く)、孫中山生誕日、命日(11月12日と3月12日)、及び旧正月元日とその翌日

● [https://hk.dr.sunyatsen.museum/en\\_US/web/sysm/aboutus/intro.html](https://hk.dr.sunyatsen.museum/en_US/web/sysm/aboutus/intro.html)



### 大館 Tai Kwun

旧セントラル警察本部の跡地が歴史とアートの発信地となりました。広大な敷地内には旧中央警察署・中央裁判所・ピクトリア監獄という3つの重要文化財指定建造物を含む16の歴史的建築と2つの新しい建築があります。170年もの歴史を持つ旧警察本部の建物など、館内は歴史はもとより、香港の最新アートやカルチャーをご覧ください。

■ 開館時間:火曜～土曜 午前10時～午後5時 日曜 午後1時～午後5時  
■ 入場料:HK\$10 子供(学生) HK\$5 ■ 休館日:月曜、クリスマス休暇及び、旧正月3日

● <https://www.taikwun.hk/en/>



## 九龍半島

### 香港歴史博物館 Hong Kong Museum of History

地球の成り立ちの頃から1997年の中国返還までの民族文化や生活様式などの歴史をわかりやすく紹介しています。特別展示は約2か月ごとにテーマを設け、その歴史を深く掘り下げた展示内容になっています。常設展示では香港文化に触れることのできるジオラマが目を引きまます。

■ 開館時間:月曜、水曜～金曜 午前10時～午後5時 土、日、祝日 午前10時～午後7時(但し、クリスマス・イブと旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:無料(特別展示は有料) ■ 休館日:火曜、クリスマス休暇及び、旧正月とその翌日

● [https://hk.history.museum/en\\_US/web/mh/](https://hk.history.museum/en_US/web/mh/)



### 香港ウェットランドパーク Hong Kong Wetland Park

マイボア自然保護区に隣接する総面積約60ヘクタール(東京ドーム約14個分)という広大な敷地をもつ自然に触れることが出来る。

■ 開館時間:月曜、水曜～金曜 午前10時～午後5時 土、日、祝日 午前10時～午後9時(但し、クリスマス・イブと旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:HK\$30 子供、学生、障害者、65歳以上 HK\$15 ■ 休館日:火曜(公休日を除く)、旧正月とその翌日

● <https://www.wetlandpark.gov.hk/en/>



### 香港科學館(香港サイエンスミュージアム) Hong Kong Science Museum

科学的知識探求を満足させる理想の場所として、実際に触ったり、試したり、ゲームをしたりと体験型の展示が特徴です。数学、力学、光学、食品化学、ホーム・テクノロジーなど細かい分野に分かれて、詳しく紹介されています。また、香港がホームタウンであるキャセイパシフィック航空が1942年処女飛行したの第1号機、「ベツツイー号」の展示もあります。

■ 開館時間:月曜～水曜、金曜 午前10時～午後9時 土、日、祝日及び12月24日、旧正月前日 午前10時～午後5時 ■ 入場料:HK\$25 学生、60歳以上及び身体障害者 HK\$12.5 毎週水曜は入場無料 ■ 休館日:木曜(祝日を除く)、旧正月とその翌日

● [https://hk.science.museum/en\\_US/web/scm/index.html](https://hk.science.museum/en_US/web/scm/index.html)

### 香港藝術館(香港美術館) Hong Kong Museum of Art

中国の文化的遺産の保護、および香港の美術文化向上に貢献することを目的として設立され、そのコレクションは、中国絵画、書画、古代中国の秘藏品、香港の芸術家たちによる歴史絵画など14,000点を超える所蔵品があるといわれています。常設展と特別展があり、中国の歴史的なアートや、香港で活躍する若手アーティストたちの大胆で斬新な作品に触れることができます。

■ 開館時間:月曜、水曜～金曜 午前10時～午後6時 土、日、祝日 午前10時～午後7時 ■ 入場料:無料(特別展示は有料) ■ 休館日:木曜、旧正月とその翌日

● [https://hk.art.museum/en\\_US/web/ma/home.html](https://hk.art.museum/en_US/web/ma/home.html)

### 香港文化博物館 Hong Kong Heritage Museum

広東オペラ、骨董収集家の徐博士による新石器時代から20世紀までの所蔵品の常設展示など香港文化に触れることが出来る博物館。特別展示の数も豊富。

■ 開館時間:月曜、水曜～土曜 午前10時～午後6時 日、祝日 午前10時～午後7時(但し、クリスマス・イブと旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:無料(特別展示は有料) ■ 休館日:火曜(公休日を除く)、旧正月とその翌日

● [https://hk.heritage.museum/en\\_US/web/hm/highlights.html](https://hk.heritage.museum/en_US/web/hm/highlights.html)

### 香港太空館(香港スペースミュージアム) Hong Kong Space Museum

映像や音声などのマルチメディアやインタラクティブを主に多用した展示は必見で、酒泉衛星発射センターの模型を使ったロケット発射に関する説明や、中国初の宇宙飛行士・楊利偉が実際に着用したユニフォームも展示。このほか、国際宇宙ステーションでの疑似体験ができるコーナーなど設置されています。

■ 開館時間:月曜、水曜～金曜 午後1時～午後9時 土、日、祝日 午前10時～午後9時(但し、クリスマス・イブと旧正月前は午後5時閉館) ■ 入場料:展示ホール HK\$10(障害者、60歳以上HK\$5。また毎週水曜は無料) 3Dショー、OMNIMAX ショースタンドード HK\$24(前方席)/HK\$32 障害者、60歳以上のシニア HK\$12(前方席)/HK\$16 ■ 休館日:火曜(公休日を除く)、旧正月とその翌日

● [https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Space/en\\_US/web/spm/aboutus/intro\\_main.html](https://www.lcsd.gov.hk/CE/Museum/Space/en_US/web/spm/aboutus/intro_main.html)



### 香港文物探知館 Hong Kong Heritage Discovery Centre

九龍公園内にあるこの博物館は、香港の過去の文化財に対する香港市民の更なる意識向上を目的に建てられたものです。専題展覧廳(Thematic Exhibition Gallery)・演講廳(Lecture Hall)・参考図書館(Reference Library)・考古活動室(Archaeological Activity Room)・常設展覧廳(Permanent Exhibition Gallery)の5つの施設からなっていて、セントラルにあった旧香港上海匯豊銀行本店の正面に使われていた銅門も保存展示されています。

■ 開館時間:月曜～水曜、金・土曜 午前10時～午後6時 日、祝日 午前10時～午後7時 ■ 入場料:無料 ■ 休館日:木曜

● <http://www.amo.gov.hk/en/hdc.php>



# お勧め教育素材

## 香港島編



### 香港島南側(レパルス・ベイ、スタンレー)

浅水湾(レパルス・ベイ)は、地元の方のリゾート地。ここでは、海の守護神「天后」が祀られている他、渡ると3日寿命が延びる橋、子宝に恵まれる、金運アップ、縁結びの像などがみられます。赤柱(スタンレー)地区にはストリートマーケットがあり、主に衣類や美術品や中国風の土産物などが売られています。この区には18世紀から存在する天后廟やコロニアル建築様式の香港で保存されている最も古い警察署のひとつであるスタンレー旧警察署などがあります。

### オーシャンパーク(香港海洋公園)

87ヘクタールの敷地をよする1977年に1月10日に完成した海洋をテーマとしたアミューズメント・パーク。ウォーターフロントとサミットの2つのエリアに分かれていて、アトラクションやパンダ舎など見所が多い。環境学習プログラム(主に少人数向け、要予約)も体験可能。

### ビクトリアピーク

香港訪問の際、必ず立ち寄るといわれるほどの名所。ビクトリアハーバーが一望できる山頂駅へは、100年以上も運行しているピークトラムで上ることが出来ます。

### 街歩き(中環[セントラル]地区)

文武廟は、1847年、英国領になって間もない頃に建てられた香港島で最も古い道教寺院。中国建国の父、孫文(孫中山)の生誕140周年を記念した記念館は、1914年に建てられた歴史的建造物を利用しています。

「ミッドレベル・エスカレーター」は、世界一長いエスカレーター。(世界最長の屋外のエスカレーターとしてギネスブック登録済。実際はエスカレーター1本ではなく、18のエスカレーターと3つのオートスロープ。移動には何回か乗り換えが必要となります。合計の長さは800m、高低差135m。所要時間は約20分)



### 香港大学

1877年\*に創設された香港で最も古い大学。アジアの中でも常に上位にランクインしている。無料で見学できるアートギャラリーは、香港最古の美術館といわれ、貴重な所蔵品が展示されています。

\*香港西医学院として創設、その後認可を受けて、1912年より香港大学として始動

### ヌーンデイ・ガン

香港島の銅鑼湾(コーズウェイベイ)にある大砲から空砲は、正午の時報として鳴らされています。大砲の鳴らすようになったのは、香港に赴任したの英国海軍指揮官が、ジャーディン社の船の入港時に同社職員が大砲を鳴らすという慣行を目の当たりにし、大砲の弾は海軍船のためにのみにとっておくのだと腹を立てたためであると言われています。その罰則として、ジャーディン社は150年以上経った今でも毎日正午に時砲を鳴らしています。

### 孫中山記念館(孫文記念館)

中国建国の父、孫文(孫中山)の生誕140周年を記念し、2006年にオープンした記念館。1914年に建築された「甘棠第Kom Tong Hall」は、近代技術の粋を集めて建築された当時としてはとても珍しい鉄筋コンクリートの4階建ての建物です。改装にあたっては、エドワード王時代のクラシカルな趣が随所にあふれ、ステンドグラスがはめ込まれた窓や小さなタイルがていねいに敷き詰められたバルコニー、磨きこまれた手すりなど、保存状態の良さと当時の華やかな暮らしがわかるような美しい建築の良さを残したままにしています。

孫文は、香港で学んでいる最中に革命思想に目覚め、その後の活動の基盤武装蜂起を画策したのも香港です。記念館では、革命のために奔走し、世界各国に足跡を残した孫文の学生時代から辛亥革命に通じる重要な歴史的文物を中心に公開しています。その中には、孫文をサポートした日本人の梅屋庄吉氏についても触られています。

## 九龍半島編



### 香港歴史博物館

香港の歴史を時系列に展示。特に近代の歴史的かつ貴重な写真、文献などが見られる。

### 九龍寨城公園

1846年、道光帝の許可を得て正式に造られた城砦。かつては、航行の確認、香港島との連絡の拠点だった。現在は清時代初頭の江南様式庭園で、歴史的な変遷の写真や、当時の様子が分かるモックアップ展示がある。

### スカイ100香港展望台

2011年4月に開業、高速エレベーターで100階まで約1分間で移動が可能。ビル内展望フロアを一周することで360度パノラマの景色が望め、マルチメディアガイドには、英語、北京語、広東語と日本語版が用意されています。

## 新界地区編



### 車公廟

宋代の南中国の将軍、車大元帥、(車公、疫病を封じる神)を奉るため建てた廟。幸運をもたらす「風車」があり、多くの参拝客が訪れています。

### 元朗屏山文物徑(屏山ヘリテージトレイル)

12世紀ごろから香港・新界地区集落に定住した鄧一族が住んでいた場所で、600年以上の年月を経た優美な建物を見学でき、歴史を辿ることができます。

トレイルの全長は、坑尾村、坑頭村、上璋圍を通る約1km。ランドマークになっている三重塔、聚星樓は高さ13mで、科挙合格祈願用に建設されたものです。

### 香港ウエットランドパーク

湿地に生息する生物・湿地の役割などのテーマ毎に分けた展示。自然生態系や、環境について学べます。

### 黄大仙廟

1921年に建設された香港最大の道教寺院。仏教、儒教も別殿に祀られている。病気治癒の神、願い事が叶う寺、また「占い寺」とも言われている。

### 街歩き(通菜街、廟街)

油麻地(ヤウマテイ)、旺角(モンコック)にあるストリートマーケットでは、香港らしさを感じられます。

通菜街は、当初女性が身につけるものを売っていたので、通称は「女人街」、廟街は、天后廟が近くにあるので、この名が付いていますが、こちらは「男人街」と呼ばれています。どちらも雑貨などを販売していますが、男人街では占い師がいたり、広東オペラ(粵劇)が見られたりと様子が違います。

その他、「台所街」といわれている上海街では、キッチンに使う道具など幅広く売られていたり、甘肅街あたりにあるジェードマーケットは、翡翠でできた指輪、ペンダントなどのアイテムが販売されています。

### 粉嶺龍躍頭文物徑

(龍躍頭ヘリテージ・トレイル)

13世紀、南宋朝(1127年~1279年)はモンゴル軍に破れ、追われていた宋の王女は、江西省出身であった鄧一族の元に避難し、その後一族の男と結婚。

子孫は、元朝(1271年~1368年)の終わりごろ、ここに移住しました。

子孫たちは、この地域に11の村を作り、そのうちの5村は、かつてこの地域に存在した盗賊の侵入を防ぐために城壁で囲まれました。多くの遺物が保存されており、さらに道教寺院群、蓬瀛仙館などをトレイル沿いに見ることができます。名前の由来は昔、この山で飛び跳ねる龍が見られたという言い伝えからです。この地域に住むタン一族は、今でも、夏と秋の共同礼拝や毎年の天后誕を初めとする村の伝統的な習慣を行っています。

### 香港文化博物館

香港の歴史、文化、芸術をテーマにした大型博物館。毎週土曜には「広東オペラ入門」(粵劇)教室を開催しています。



# 体験学習

グループで行える香港体験学習の一部をご紹介します。

## カンフー ドラゴンダンス ライオンダンス 太極拳/功夫/舞龍・舞獅

かつて香港映画で有名だったカンフー(功夫)や、太極拳などの体験学習、中国獅子舞や、ドラゴンダンスは、チーム対抗で行うことが出来、学生団体にも向いています。

### 太極拳クラス

年齢や体力などに関係なく、誰でもマイペースに楽しめる太極拳。香港らしい体験アクティビティであると同時に、日頃の運動不足も解消できます。ホテルのホールや公園などに講師を迎え、基本姿勢や呼吸法などを習い、あとは講師の動作に合わせて自分のペースで身体を動かしてみます。日本人講師なので、言葉の心配も無用。早起きして身体を動かせば気分も爽快で、いつもより朝食もおいしいはず。

■新井孝子(香港太極拳総会名誉会長)  
TEL:852-2743-2479/852-9363-2645 FAX:852-2745-8197  
所要時間:1時間



心身をリラックスさせて、先生の動きをまねてみよう

### カンフー体験クラス

香港といえば、アクション俳優のブルース・リーを思い浮かべる人も多くは。カンフーは、漢の時代に生まれた伝統ある護身術で、意外にも、男性だけでなく女性にも人気のプログラムです。せっかく香港に来たのなら、みんなで実際に体験してみるのも面白いのでは。レッスンは1時間程度で、公園やホテルの施設を利用して行えます。まずは、入念なストレッチをした後、先生の真似をしながら、馬歩、弓歩など、カンフー独特の5つの足の形、手の形を学びます。後ろから襲われた時や手をつかまれた時など、具体的なシチュエーションでの形も教えてくれるので、実生活でも役に立ちそう。また、アンディー・クオック先生は「気功」の体験クラスも教えています。



女性の体験希望者も多い



団結力を必要とするプログラム

■Kwok's Kung Fu & Dragon Lion Dance Team  
担当:Mr. Andy Kwok  
TEL:852-2395-6263/852-9644-1999 FAX:852-2395-6231

### ライオンダンスコンテスト

宴の席などで披露される中国伝統のライオンダンス(獅子舞)。パフォーマーを呼んで鑑賞するのもいいですが、チームビルディングのプログラムとして、実際にダンスに参加し、競い合うという思い出に残る楽しい企画です(所要時間は2時間以上)。参加者は各チームに分かれ、ライオンのかぶり物を着用する人、銅鑼や太鼓などを担当する人、胴体部分のコスチュームをペイントする人など役割を分担し、チームが一丸となってダンスを披露します。仲間意識も高まり、かつ中国の伝統文化にも親しめる、体験学習にぴったりのプログラムです。より大人数が参加できるドラゴンダンスもあります。

# 料理実習

食の都、香港では、本格的な中国料理はもとより、スイーツなどが学べます。

### 料理クラス

グルメシティ・香港で点心作りなどにトライしたり、できた料理をプロのシェフに採点してもらうという人気の体験学習のひとつ。ホテルやレストランの厨房を貸し切って、グループごとに餃子や春巻を作ります。終わった後の試食も楽しみで、参加者同士の親睦を深めるにも、ピッタリのプログラム。「ザ・ミラ香港」の「キュイジン キュイジン アット ザ ミラ」では、ミシュランの星を獲得したシェフが料理クラスを指導。「ハーバープラザ ノースポイント」の「海逸軒」では、点心作りなどのクッキングクラスを団体用にアレンジ可能。点心作りだけでなく、香港スイーツ作りやシェフとの買い出しも体験したいという欲張り派は、ぜひ「ハーバープラザ8ディグリーズ」へ。ホテル以外では、「シティスーパー」や「タウンガス」、「中華廚藝學院」、「イージー123 ダイニング&クッキングスタジオ」、「6 センス」、「香港理工大學」内の施設、「ジャンボ・キングダム」なども会場として利用できます。

班ごとに力を合わせてチャレンジ/本場の点心作りを学ぼう



■中華廚藝學院(Chinese Culinary Institute)  
●ファン・キッチン・プログラム担当:Ms. Rachel Ngai  
所在地:7/F, VTC Pokfulam Complex,145 Pokfulam Rd., Hong Kong  
TEL:852-2538-2200 FAX:852-2550-0476  
E-mail:cci@vtc.edu.hk URL:www.cci.edu.hk/cci/html/en/  
料金:1人HK\$940(昼食含む)  
所要時間:4時間(平日10:00~14:00のみ) ※2ヶ月前までに要予約

# 中国茶道

日本の茶道との違いを体験。

### 中国茶道体験クラス

烏龍茶、プーアール茶など、日本人にとってもなじみの深い中国茶。でも、それぞれの茶葉の違いや正しい入れ方などは意外と知らないもの。香港にある中国茶のショップでは、店内で無料の中国茶道体験クラスを行っているところもあるので、ぜひ活用してみよう。特に、「茶藝樂園」と「三思堂茶藝」には日本語が堪能なスタッフがいて言葉の面でも安心です。1回30分程度のレッスンで、3~4種類のお茶を試飲。茶葉の種類によっても入れ方が異なるので、ぜひ実演を見て覚えましょう。もちろん気に入ったお茶や茶器があれば、その場で購入も可能です。また、香港スタイルのミルクティーの入れ方を習うクラスも団体用にアレンジ可能。香港式ミルクティーを気に入った方は、ぜひ作り方を学んで帰って!



本場の中国茶道を体験

■三思堂茶藝(San Si Tang)  
担当:Mr. Andy Cheung  
所在地:Rm 02, 11/F, United Success Commercial Centre, 506 Jaffe Road, Causeway Bay, Hong Kong.  
TEL:852-2892-2463  
E-mail:info@sansitang.com.hk URL:www.sansitang.com.hk  
料金:月~土の正午からのみ無料の中国茶道体験クラスを開催。団体の場合は要予約。  
営業時間:11:30~19:30 ※日祝休み 所要時間:30分程度

# 香港証券取引所(香港交易所)

アジア金融の中心となる証券取引所内をホールより見学。

■Hong Kong Exchanges and Clearing Limited  
所在地:1/F, One and Two Exchange Square, Central, Hong Kong.  
URL:http://www.hkex.com.hk/eng/index.htm  
営業時間:取引日 9:30~17:00  
※入場締め切り時間は15:30  
※クリスマス・大晦日・旧正月前日などは13:00で終了



# 学習プログラム



歴史、文化、アトラクション、フェスティバル、イベントなどを  
見て触って、香港での貴重な経験を体験できる学習施設をご紹介します。

## オーシャンパーク

<https://www.oceanpark.com.hk/en/education-conservation/education/programmes/students/ocean-park-overseas-student-education-programme>

プログラム	内容	対象	所要時間	催行人数
オーシャン・ディスカバリー	◆サメの生態について学ぶ 対話式ゲームプログラム体験。サメの「保護大使」となり、サメの保護を主張するキャンペーンを考える	6才～17才	1時間	15～30名
レインフォレスト・ディスカバリー	◆熱帯雨林について学ぶ 対話式ワークショップを通じて、人類と湿地の密接な関係を理解。環境にやさしいライフスタイルを提案するを考える	6才～17才	1時間	15～30名
ライズ・ディスカバリー	◆パーク内にあるライドについて学ぶ ジェットコースターのコース設計をチームで考える。また、このような力学が日常生活にどのように役立られているかについて学ぶ	6才～17才	1時間	15～30名
エデュケーション・トーク	1 動物や環境保護についての講座 環境保護の継続/生物の多様性 2 テーマパーク勤務における多様性についての講座技能、知識、接客について	6才～17才	45分	200名以上



## ノアズ・アーク(ノアの方舟テーマパーク)

<https://www.noahsark.com.hk/eng/pta/index.html>

プログラム	内容	対象	所要時間	催行人数
ソーラ・スターゲイジング	◆太陽系と宇宙の構造の概念を学ぶ	12才以上	4時間	25～40名
ソーラーメーカー	◆STEMとデザインの統合	12～18才	6時間30分	25～40名



## ダックリング

<https://www.dukling.com.hk/en/event/?id=56>

プログラム	内容	対象	催行人数
ダックリングカルチャー・ジャーニー	◆ダックリングの歴史、漁民の生活紹介、帆かけ体験・漁網編み体験 など	12才以上	32名

開催: 毎週日曜日(他の曜日はチャーターが可能)  
ルート: 柴灣～筲箕灣～魔鬼山～鯉魚門～油塘  
言語: 広東語でご案内します。(チャーターの場合は、英語・北京語も可能です)



## ディズニー・ユース・エデュケーション・シリーズ・プログラム (Youth Education Series / 略称Y.E.S.)

[https://park.hongkongdisneyland.com/hkdlyouth/en\\_US/YES/teachers@name=TeacherOverviewPage.html](https://park.hongkongdisneyland.com/hkdlyouth/en_US/YES/teachers@name=TeacherOverviewPage.html)

プログラム	内容	対象	所要時間	催行人数
物はどうやって動く?	あらゆる種類の動きの背後にある科学的原理を発見してください。このインタラクティブプログラムでは、学生はテーマパークの科学者になり、物理実験が香港ディズニーランドの最もスリリングなアトラクションにどのように役立つかを実践実験で学びます!	6才～17才	2時間30分	15～18名
ディズニー・物理の世界	このプログラムは、物理科学が私たちの周りであることを参加者に示しています。香港ディズニーランドパークでは、いくつかの刺激的な例があります。	6才～11才 12才～18才	3時間	15～18名
グローバル社会を考える アドベンチャー・イン・リベラル・スタディ	香港ディズニーランドでの実例を使用して、このプログラムは、学生が「issue-enquiry」アプローチを通じて重要な知識を身に付け、彼らがグローバルコミュニティの不可欠な部分になるための道を開きます。	12才～18才	3時間	15～18名
ディズニー・キャリア・サクセス	この魅力的な体験では、学生は、キャリアへの関心に対する独自の準備、ユニークなディズニー文化、およびキャリアの機会を作成するための個々のスキルセットの拡大を探ります。学生は、プロの世界をナビゲートする際に、自己規律と自己意欲の力を発見します。	14才～25才	3時間	15～17名
ディズニー・ホスピタリティ	学生はリゾート内のホスピタリティサービスの日常業務を観察し、業界で必要なスキルについて学ぶ機会を得ます。	14才～25才	3時間	15～24名

●小学生向けプログラム: 6～11才 ●中学生以上の学生向けプログラム: 12～18才 / 14～25才



## ディズニーテーマパークアドベンチャー (Disney Theme Park Adventure)

[https://park.hongkongdisneyland.com/hkdlyouth/en\\_US/funAdventures/themeParkAdventures@name=ThemeParkAdventureOverviewPage.html](https://park.hongkongdisneyland.com/hkdlyouth/en_US/funAdventures/themeParkAdventures@name=ThemeParkAdventureOverviewPage.html)

ディズニーテーマパークアドベンチャー  
学習パスポートを生徒全員に配布。  
パーク内で歴史や文化を学びましょう



ここに掲載しているのは一例です。香港で受けられるすべての「学生向け教育旅行プログラム」の詳細は、下記でご確認いただけます。

[https://partnet.hktb.com/filemanager/japan/jp/content\\_3905/Student\\_Library\\_JP.pdf](https://partnet.hktb.com/filemanager/japan/jp/content_3905/Student_Library_JP.pdf)

## 香港で

# 活躍した人物

### 林則徐

清代8代皇帝、道光帝から、欽差大臣に任命され、派遣された広東省では、アヘンの回収、処分、吸引者の取締りを強行に行った結果、イギリスは1840年6月、アヘン戦争を引き起こすことになりました。

### ウィリアム・ジャーディンとジェームス・マセソン

前身は東日本インド会社で、貿易商を営んでいたスコットランド出身の船医のジャーディン氏と、実業家マセソン氏が立ち上げた「ジャーディンマセソン」は、アジアを基盤としたイギリス系企業グループの持株会社として170年経った今でも香港に君臨しています。一説には中国の強硬な不平等貿易に対して、イギリス議会で働きかけた人物だといわれています。

日本にも横浜、長崎にジャーディンマセソン商会があり、グラバー邸のトーマス・ブレイク・グラバー氏は、長崎で勤務していました。

### 張保仔

張保仔は1800年前後に香港海域一帯で活躍した海賊でしたが、人望が厚く「義賊」として名を馳せ、清朝政府に対抗する勢力の象徴でした。

清朝政府が任命した百齡総督は、温和政策を取ったので張保仔は、嘉慶15年(1810年)に投降し、その後張保仔は張宝と改名し、地域海軍副長官に任命されました。現在九龍城寨公園のある場所は、城寨が建設される前は砲台でしたが、この砲台を建設したそもその理由が張保仔退治でした。

彼の伝説は香港に数多く残されており、上環(シオンワン)近くの「西營盤(サイインブン)」は張保仔の西の基地の意味(營盤は軍事基地の意味)、ピクトリアピークの中国漢字名には「址旗山(ジケイサン)」がありますが、彼が旗を掲げていたことに因んだものです。

### 何啟と區徳

1925年に開港した旧啓徳空港は、彼らの名前から一文字をとって名付けられました。何啟は、法廷弁護士、医師、評論家の顔を持ち、その義息の區徳は、セントラル地区のデベロッパー、家具店を営んでいた他、東華醫院のディレクターでした。彼らは、清朝最後の皇帝である愛新覚羅溥儀の家庭教師をつとめたレジナルド・ジョンソンとも親交がありました。

### 香港総督

初代ヘンリー・ポットインジャー総督から、クリストファー・パッテン総督まで、28代に渡り、英国が香港を統治してきました。特に功績を残された総督は、香港の道路名や地名になっています。

1800年中期から後期に就任した、5代ロビンソン総督の時にガス燈設置、香港上海銀行、スタンダードチャータード銀行による紙幣発行、7代ケネディ総督の時に香港ドル発行、8代ヘネシー総督が中国籍の香港居民に議会参加承認、ビジネス開放、9代ポウエン総督の時に天文台(気象庁)開設、10代デポー総督時に香港電力始動、ピークとラム運行など香港の発展に寄与したといわれています。

九龍半島の目抜き通り、ネーザンロードは、第13代ネーザン総督から。九広鉄道の敷設が香港の発展により拍車をかけました。また、14代ルガード総督時は香港大学設立、19代カルデコット総督の時に啓徳空港国際路線自由化となりました。

香港市民の中で最も有名なのは、25代マクレホース総督。在任期間がもっとも長い(10年6ヶ月)だけでなく、MTRの開設、カントリーパーク設置・保護を手がけた方です。毎年11月には彼の名前がついているコースで100kmトレイルランが行われています。

### ブルース・リー(李小龍)

香港映画を日本に知らしめ、世界中のエンターテイメントでも一世を風靡した武道家・映画スター。

俳優業以外にも、脚本家、映画プロデュースにも携わり、彼の功績を称えた銅像はアベニュー・オブ・スターズに展示されています。

### 孫文(孫中山)

広東省、中山生まれの孫文は、1833年から1892年までの17歳から26歳までの間、拔萃書室(現在の拔萃男書院:旺角<モンコック>)、中央書院(現在の皇仁書院:銅鑼湾)そして、香港西醫書院(現在の香港大学医学院)で学び、その最中に革命思想に目覚め、その後の活動の基盤となる思いを抱き始めたといわれています。のちの武装蜂起を画策したのも香港で、また、孫文の香港の友人は、辛亥革命後の政権を忠実に支持したともいわれています。このように香港は、孫文の思想の大きな礎を築き、発展させた土地だったのです。

また、19世紀当時の香港は、政治、経済、文化の発展目覚ましいところであり、その他交通手段が発達、外国資金の流入など、容易な活動をサポートする機関の発達に加え、言論の自由も認められていた環境が、革命活動の拠点として選ばれた理由であり、孫文の活動に好都合だったというわけです。

日本との関わりは、日本機関紙『民報』の刊行の資金を調達、孫文をサポートした梅屋莊吉氏が有名です。



# 香港の教育制度

EDUCATIONAL SYSTEM OF HONG KONG

香港の義務教育期間も日本と同じ9年間で、9月から新学期が始まります。

2009年から始まった香港の新教育制度は日本と同じ「六三四制」と呼ばれるもので、義務教育期間は日本と同じ小学校6年生と中学校3年の9年間です。香港の教育機関は9月が新学期で、2学期制を採用しています。

新教育制度	小学校[6年]	中学校[3年]	高校[3年]	大学[4年]
	義務教育期間			

## 新しくなった香港の教育制度

香港の2008年度までの教育制度は植民地時代から英国式を取り入れており、小学校6年と中学前期課程3年を含む義務教育が合計9年、その後中学後期課程(高校に相当)2年、大学予科2年、大学3年となっていました。2009年度より、香港の教育制度は、日本や中国本土と同じ6-3-3-4制に変わりました。これまでの3年制だった大学で4年間学べるようになり、学生の専門性の高まりにも期待がもたれるほか、中国本土からの学生受け入れも容易になります。日本と同様に少子化に拍車がかかる香港で、今後どのように競争力のある人材育成につながるかが注目されます。



## 教育制度改革に巨額の支援

香港特別行政区政府の方針として、教育制度改革に巨額の67億HKドル(約860億円)を予算計上し、各大学の四年制移行への補助金や高校の「マルチメディア学習」など特殊なプログラムに参加する学生への支援金、経済的に困難な学生へ融資資金に充てられます。また新制度導入後は高校の教員増員にも着手し、1クラス当たり平均1.9人の教員を2人まで増やす計画としています。

## これまでを見直したカリキュラム

新制度の高校カリキュラムでは通常の学科の学習成績以外に、「応用学習」と呼ばれるその他の学習経験が重視されます。3年間の教育課程のうち少なくとも15%が充てられる予定で、◇道徳教育◇公民教育(香港の「基本法」や人権などを学ぶ)◇社会福祉◇就業関連の経験◇芸術、体育の成績一などがそれに当たり、勉強だけの「詰め込み式教育」に偏りがちだったこれまでの教育制度を見直したものにります。

## 大学入試科目・大学カリキュラム

大学入試については、中国語、英語、数学、一般教養の基本4科目と、選択科目1~2科目で実施されます。選択科目を必修としないといっている大学もあり、受験するのが文系であっても数学は必修となります。また大学も、増えた1年でカリキュラムの充実を図ります。例えば、海外交流や実習の充実を計画し、数年後には海外実習を必修科目として取り入れたい考えです。

## 容易になった留学生の受け入れ体制

中国本土からの留学生受け入れ体制も容易になります。中国本土出身の留学生は、高校卒業して香港に来ても学年制度が合わないため、「予備課程」と呼ばれる準備期間を1年過ごさなければなりませんでしたが、これからはこれがなくなり、すぐに入学できるというメリットになります。また、ますます少子化が進むとみられる香港で、留学生受け入れがこれまでよりも容易になるとすれば、大学の生き残り対策にまおなるものとみられています。

## グレーターベイエリア (広東・香港・マカオ大湾区)

中国華南エリアは、香港を起点に拡大しています。2018年9月23日開通の高速鉄道は、縦横8つずつの路線で中国全土の主要都市を網羅し、総距離25,000キロのネットワークとなります。また、港珠澳大橋開通したことで、陸路でマカオ、珠海へのアクセスが可能となり、ますます近隣都市との連携が密になることでしょう。

### 広深港高速鉄道

広深港高速鉄道の起点となる西九龍駅より、近隣の深圳、中国主要都市へのアクセスがぐっと便利に。深圳まで従来のMTR(地下鉄)では40分かかるところ、高速鉄道では14分、広州までは約2時間だったのが48分と大幅に短縮されます。また、上海、北京はもとより中国観光名所へのご旅行の選択肢が増えます。



### 港珠澳大橋

海上橋と海底トンネル合わせて全長55km、香港、マカオ、珠海をつなぐ大橋。片道3車線、24時間通行可能となり、さらに周辺地区への旅を気軽にお楽しみいただけるようになります。

※港珠澳大橋で香港(ランタオ島)からマカオまで約40分、珠海まで約45分



### マカオ日帰りツアー

24時間運航の高速フェリーで約1時間と香港から気軽に行けるマカオ。約500年にわたってポルトガル人たちが暮らし、東西の異文化が融合・共存しながら築かれた街並みは、世界文化遺産「マカオ歴史市街地区」として登録されています。街を彩るポルトガル風石畳や絵タイルを楽しみながら、のんびり歩いてまわるのがおすすめです。旧市街から車で20分の注目エリア「コタイ」は新しい街。アジア最大級の巨大リゾートが建ち並び、800店以上のショッピングやエンターテインメント、さまざまなグルメなどが楽しめます。



人気のショー「ザ・ハウス・オブ・ダンシング・ウォーター」

### ■マカオ政府観光局

TEL: 03-5275-2537  
FAX: 03-5275-2535  
URL: www.macaotourism.gov.mo  
交通: 香港島上環(シヨンワン)の香港・マカオフェリーターミナルや九龍尖沙咀(テムサアチョイ)のチャイナ・フェリーターミナルから高速フェリーで約1時間。旧市街へはマカオ半島行き、コタイへはタイパ行きのフェリーが便利。港珠澳大橋開通で香港国際空港からのアクセスもより便利に。

### 錦繡中華民俗村

中国経済特区として目覚ましい発展を遂げた、香港から日帰り観光として楽しめるエリアです。「錦繡中華民俗村」は、万里の長城、西安の兵馬俑など中国の観光名所をミニチュア版で再現したエリアと、少数民族を含め全56民族となる中国の文化に触れることができるテーマパークです。



### ■錦繡中華民俗村

所在地: 广东省深圳市南山区华侨城・深南大道9003号  
営業時間: 月~木: 10:00~21:30 / 土・日: 9:30~21:30  
■China Travel Service(H.K.)Ltd. (上記チケット購入・お問い合わせ先)  
TEL: 852-2998-7888  
E-mail: ceb@ctshk.com URL: www.ctshk.com  
入場料金: 大人HK\$171(中国民俗文化村/錦繡中華共通チケット)  
交通: 深圳地下鉄「華僑城」駅で下車

### 香港の主な大学

- 香港大学** 香港でもっとも古い大学で創立は1911年。文学、建築学、歯科学、教育学、工学、法学、医学、社会学の9学部
- 香港中文大学** 1963年創立。学部は文学、経済・経営学、教育学、工学、医学、理学、社会学の7つ
- 香港科技大学** 1991年開校。理学、工学、経済・経営学の3学部。
- その他の主な大学、カレッジ** 香港城市大学/香港演芸学院/香港浸会大学/香港公開進修学院  
香港教育学院/香港理工大学/嶺南学院/珠海学院

### 香港の学校に関するQ&A

- Q. 新学期は日本と同じ(4月から)ですか?**  
**A.** 香港の学校では、欧米などと同じ9月から新学期が始まります。ちなみに日本の学校は1学期から3学期までありますが、香港では9月から2月までが1期、3月から7月中旬までが2期という分け方をしています。
- Q. 香港の学校でもテストはありますか?**  
**A.** もちろん日本の学校と同じようにテストはあります。ただ、ほとんどの学校では期末試験が2月と7月にあるだけで、年2回しかテストは行われません。中には年度末試験しか行わない学校もあるそうですよ。
- Q. 香港の学校は休みが多いって本当ですか?**  
**A.** 学校によっても異なりますが、香港の学校では主に長期休暇が一年のうちに4回あります。年末年始の休み(日本でいう冬休み)が1~2週間、春にはイースターホリデー(復活祭)がやはり1~2週間、夏休みは日本の学校と同じように7月中旬から8月末まで有ります。日本の学校よりも少しだけ休みが多いみたいですね。

# 香港の祝日！ イベント盛りだくさん！

## 元日

中国の行事歴の中で最も重要な祝祭日。お年玉はライシーと呼ばれ、既婚者が未婚者に、上司が部下に送ります。独身ならば、年齢は関係なくお年玉が貰えます。甘いお菓子や果物を持って、人々は友人や親戚を訪ねて年始回りに出かけます。  
初もうでに行く家も多いです。  
(高岡)

←1月1日

## 清明節

お墓参りに行く日です。  
もやす用のためのお札などの紙を、燃やして「天にいる人が天でも幸せにいられるように。」と願いながらします。現在広まっている定気法では太陽黄経が15度のときで4月5日ごろです。  
中国における清明節は先祖の墓参り、草むしりをして墓を掃除する日であり、「掃墓節」とも呼ばれました。  
(フェルナンデス)

3月下旬→

←4月5日  
ごろ

## 国際労働節

5月1日は国際労働節（メーデー）です。（アメリカのシカゴの労働者のゼネラルストライキからゆらいます。）国際労働節は全世界の労働者たちの祝日です。中華人民共和国成立後、中央人民政府は1949年12月に毎年5月1日を労働節と定め、メーデーが中国の法定休日となりました。  
(横山)

4月6日→

←5月1日

## 耶蘇受難節（レント）

キリスト教の祝日で、毎年聖金曜日（Good Friday）とその翌日の土曜日が祝日となります。  
レントとは、キリストの受難をしのぶ日です。  
Good Friday は、God's Friday から変わったそうです。  
(関)

## 復活節翌月曜日

(Easter Monday)  
キリスト教（カトリック）用語で復活祭翌日の月曜日  
イースターの翌日である月曜日は、イースターマンデーと呼ばれ、国や地域によって様々な行事が行われる日になっている。  
香港でも祝日になる！  
(中村)

## 仏誕節

旧暦の4月8日はお釈迦様の誕生日を祝う日で、5月22日が香港で祝日となっています。  
※ 注意  
中国は祝日ではありません。  
(フェルナンデス)

←5月22日

## 国慶節

1949年、毛沢東が10月1日に中華人民共和国の建国を宣言した日です。以降、10月1日を建国記念日として国慶節になりました。当時香港はイギリスでしたが、中国へ返還された1997年から祝日となりました。  
毎年国慶節になると、ヴィクトリア湾で花火が打ち上げられます！  
(板谷)

7月1日→

## みんな楽しいクリスマス!?

日本人みんな大好きなクリスマス  
香港の人も好きなのか？  
12月25日（クリスマス）  
イギリス領であった香港を日本軍が占領してしまいました。  
だから香港の人はクリスマスを好ましく思っていない。  
(木村)

←10月1日

10月2日→

←12月25日

## 香港返還

香港は1997年7月1日にイギリスから返還されました。そして2017年は返還20年を記念して、花火などが行われました。その返還式の会場となったのがワンチャイの香港コンベンションセンターです。ここで習近平国家主席が返還20年についての演説を行いました。また、コンベンションセンターには中国から香港へパウヒニア像が送られそれぞれが設置されています！興味ある人は見てみてください!!  
(矢野)

## 重陽節

旧暦9月9日に恒景（たんけい）という人が、災いから身を守るために高台に避難しました。高台に避難した人は命拾いしたということから、この日は高い場所へ出かけるということになりました。10月2日が祝日となっています。  
(斎藤)

香港の祝日はいかがでしたか？他にもいろいろな祝日があります。でも、日本と香港の祝日が重なる日は何年かに一度しかありません！ぜひ、香港の祝日に来港してイベントを楽しんでください！

# 三色なのは意味があるんです～タクシー～

## 三色の意味

- 赤タクシー…九龍・香港島しか走ってない
- 緑タクシー…新界地区しか走ってない
- 青タクシー…ランタオ島しか走ってない

## 料金について

**赤タクシー**…初乗り料金(2kmまで)は24\$, 2km以降200mごともしくは待機時間1分ごとに1.7\$(83.5\$になるまで)83.5\$から200mごともしくは待機時間1分ごとに1.2\$ずつ増えます

**緑タクシー**…初乗り料金(2kmまで)は20.5\$, 2km以降200mごともしくは待機時間1分ごとに1.5\$(63.5\$になるまで)63.5\$から200mごともしくは待機時間1分ごとに1.2\$ずつ増えます

**青タクシー**…初乗り料金(2kmまで)は19\$, 2km以降200mごともしくは待機時間1分ごとに1.5\$(154\$になるまで)154\$から200mごともしくは待機時間1分ごとに1.4\$ずつ増えます

## ※追加料金

- 荷物(座席に持ち込める手荷物は除く)1個あたり6\$
- 障害のある乗客が持ち込む車椅子と松葉杖は無料
- 電話予約した場合電話予約料5\$
- 有料トンネルを利用した場合往復のトンネル料

※レシートはもらえます。料金は変わることがあるのでホームページを見たほうが良いです

## 乗る方法

流れのタクシーを拾う、タクシー乗り場から乗る、予約してきてもらう方法があります  
 タクシー乗り場は緑で「TAXI STAND 的士站」と書いています  
 場所や時間によって乗車できる場所が制限されていることや乗車しかできない場合もあります  
 タクシーをとめるときは軽く水平にあげる程度でいいですまた海底トンネルを使うときは手を波打つようにしたらバッチリ、路肩に日本の黄色い線が引かれているところは駐車禁止なので拾えない場合もあります

## タクシーを見て分かること

フロントに「FOR HIRE」「TAXI」などと書かれたサインを出しているタクシーは空車、「OUT OF SERVICE」「ON CALL」などと書いているサインを出しているタクシーは基本的に拾えません  
 乗車人数の定員は車体に表記されています

## その他

荷物がたくさん乗せられる箱のようなものもありますが、4人しか乗れません  
 オクトパスで支払えるものもあります



(作成者: 山口 佑)

# 便利が詰まっている！香港の設備

## トラムで街を探検しよう！

### ～トラムとは？～

トラムとは、日本でいう路面電車です。しかし、香港の路面電車は二階建てなのです。二階建ての路面電車は、世界でも珍しいそうです。スピードがゆっくりなので、乗り心地も良いですよ。

### <トラム>

運行時間⇒a.m. 5:04～p.m. 24:00

料金 ⇒ 2.3 香港ドル\*(12歳以下は、1.2 香港ドル)

\*1 香港ドルは、日本円で約 14 円です。

降りるときに、支払います。おつりはもらえないので、小銭を用意しましょう。また、オクトパスカードで支払うこともできます。切符や回数券はありません。

- 路線 ⇒
- ・ 堅尼地城～跑馬地
  - ・ 石塘咀～銅鑼灣
  - ・ 堅尼地城～跑馬地
  - ・ 石塘咀～北角
  - ・ 上環～筲箕灣
  - ・ 跑馬地～筲箕灣



本数が多いので、次々にやって来ます。二階の一番前の席が、眺めが良く、風も気持ちいいです。トラム観光におすすめの席です。

### <オープントラム>

二階部分の半分ほどが、屋根がなくオープンになっています。香港島を巡る観光ツアーに行くことができます！ぜひ乗ってみてください。

本数 ⇒ 1日6本(上環～銅鑼灣を3往復)

所要時間⇒約1時間

料金 ⇒ 大人 95 ドル・子供 65 ドル (4歳以下無料)

乗り場 ⇒ 上環 (10:30・14:00・16:25 発)

銅鑼灣 (11:40・15:10・17:40 発)

### <ピークトラム>

香港で有名な、ビクトリアピークに行くための、一つの手段です。バスやタクシーでもいくことができますが、ピークトラムがおすすめです。

運行時間⇒7:00～24:00

乗り場 ⇒ 中環のフェリー乗り場からバスで10分

料金(乗車券) ⇒ 成人⇒往復 45 ドル、片道 32 ドル

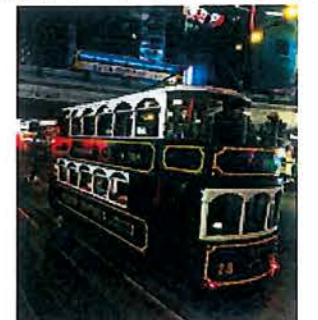
子供⇒往復 20 ドル、片道 12 ドル

◆トラムの愛称とは？⇒「叮叮」(Ding Ding/ディン デイン)  
 鐘を、叮叮♪と鳴らしながら走行することから。

◆キャンペーンは？⇒トラムの正面の下部に、にっこりマークを入れる  
 (右の写真)

『笑聲笑聲、満載叮叮』=『Catch a ride, catch a smile』

⇒ トラムのキャッチコピー



(作成者: 日下野 智子)

<郵便ポスト>

香港の郵便ポストは、赤ではなく緑色です。日本にあるような赤色のポストを探して周りの町の雰囲気溶け込んでいるので、普通に歩いていると、なかなか気が付きません。ポストには、入口が2つあります。香港のポストには全て番号がついています。ポストの設置場所は、HPで見られるようになっています。

町の中にある、香港の緑色のポスト！



(作成者：日下野 智子)

<看板>

香港の看板について

香港の道などを歩いていると看板がたくさんあります。その看板について調べました。

香港の看板は棒につれ下がっているものが多いです。大きいものもあつたり、派手なものもあつたりします。夜にはライトアップされてとてもきれいです。オープンバスで看板を観光できるツアーもあるのでぜひ行ってみてください。

今、香港の看板は減ってきています。理由は看板が古いものが多く危険だからです。

普段何気ない看板も見方によって面白いのでぜひ気にしてみてください！！

(作成者：矢部泰雅)

<公衆電話>

香港の公衆電話について

香港の公衆電話は日本野公衆電話と違うところが山ほどあります。

まず香港の公衆電話はかかる料金が違います。

日本の場合；10円、100円又はプリペイドカードが使用可能

香港の場合；1ドル、2ドル、5ドル、10ドル (1HKD=約15円)

日本のほうが便利です

通話時間の違い

日本 10円・約1分 100円・約10分

香港 1\$約1分 2\$約3分 5\$約7分 10ドル 約15分です。

割と便利です。

(作成者：李 凌霄)

<信号>

香港の車の信号は、日本のものより低いです。また、縦向きです。

歩行者用の信号は、日本とほぼ同じですが目の悪い人のために、音が鳴ります。その音は、ピリリリリリという感じ。音がとても大きく、マンションの40階くらいまで届きます。

トラム専用の信号もあって、信号に黄色で「T」とかいてあります。

日本にはないので、おもしろいですよね!!

(作成者：足達 政宗)

<フリーWi-Fi>

日本にもたくさんあるフリーWi-Fiは近年香港にも、設置されてきました。なので大体どこにあるのか、アクセスの仕方を説明します。

よくあるところ

マクドナルド、バス、MTR、人がたくさん並んでいる店は大体フリーWi-Fiがありますがあくまでも大体です。ない店もあります。例えばサイゼリヤやセブンイレブンなどはない場合が多かったです。

アクセス(接続)の仕方

まず、androidとappleのどちらでも設定を開いてWi-Fiを選択して下さい。

次に、Free-Wi-Fiとでてるものが接続できるWi-Fi一覧に出るので選択して下さい。

そうすれば、別のページに移動するのでボタンぽいところを押せばokです。

(作成者：山口 佑)

<“小心地滑”って何?>

小心地滑とは・・・?

香港の公用語である広東語で、**滑るな注意!**という意味です。道路、店内での水掃除の際、滑りやすい場所に置かれています。

・道路(①)・・・街中でたくさん見かけことができます。大体種類は二パターンあります。

・店内(③)・・・店内のもの、ホテル内のもは、街中のものよりおしゃれなつくりになっています。

(①)



(作成者：村田 栄央)

<竹の足場>

香港のマンションの工事の時に見られる竹の足場についての紹介です。

これは工事現場で働く人がビルの外から作業するときのための足場です

香港には高層マンションがたくさんあるので、下の写真のような、小さなものだけでなく、ビルの一面を覆うような大規模なものまであります。



(作成者：吉富 恵梨)

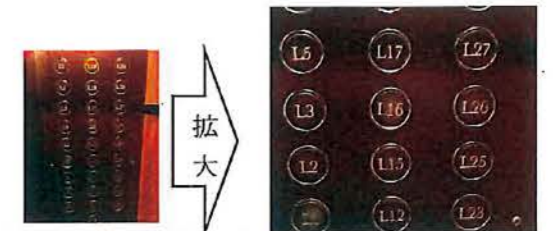
<エレベーター&エスカレーター>

エレベーターの4、13、14階が無い理由「4」は「死」に繋がるとされて、日本以外の韓国、中国、香港、台湾等では、下の写真のように飛ばされている事があります。

「13」は、西洋の方で縁起が悪い数字となっているため、13も飛ばされている事があります。

「14」は中国で縁起の悪い数字となっています。

※全ての建物でそれらが無いわけではなく、ある建物もある。



世界最長ミッドレベル

長さ・800m  
一基だけで800mではなく、23基のエスカレーターが道をはさんで繋がっています。

(作成者：臼井 理恵)

# 夜景を上から見るか？

香港といえば夜景！！といえるほど、香港の夜景はとても有名です。  
このページでは上から見る夜景、**100万ドルの夜景**と呼ばれるヴィクトリアピークを紹介します。  
その夜景とは一体どのようなものなのでしょうか？

## 1. 写真スポット&見るスポット

### ○スカイテラス428

海拔428m、360度の景色が広がる香港で最も高い展望台。  
スカイテラス428から見える夜景は、息をのむほどの絶景。

- ・日本語の音声案内とヘッドフォンがもらえる。
- ・木に邪魔されず下の方も見える。
- ・有料（成人：HKD52）

### ○スカイテラス428の写真スポット

ハートの願い事コーナーがある！夜景をバックに愛を誓う♪  
ハートの中の言葉の意味は「ヴィクトリアピークで愛を叫ぶ」

### ○獅子亭観景台

- ・歴史ある中国風の展望台
- ・展望台のすぐ下はピークトラムの線路で、トラムを見ながら夜景も見られる。



スカイテラス428から見える夜景



獅子亭観景台から見える夜景



## 2. 行き方

### ○ピークトラム

世界で古い歴史を持つ乗り物の一つである。  
右には高層ビル群が、左には緑豊かな景色があり、素敵な思い出ができる。しかし、結構人気なので混雑になることが多い。

### ○徒歩

- ルート1：香港植物公園を突っ切るコース
- ルート2：トラムの横を上がっていくコース

### ○その他

タクシー、バス、ミニバスなど…

香港に来たら絶対行くべき観光地の一つであるヴィクトリアピーク。行って損はないです！見る場所が一つではなく、二つ三つあり昼と夜で見られる姿も違うので一日中楽しめます。建物の一つ一つ形状がはっきりと認識できるのも特徴の一つです。みなさんもぜひ**100万ドルの夜景**を見に行ってみてください！

(作成：河合亜采子)

## ショーに行ってみまショー Part 2

### 広東(カントン)オペラとは？

広東オペラとは、豪華なステージ装置、色鮮やかな衣装、独特な歌唱のスタイルで人々を魅了するパフォーマンスです。広東オペラは広東語で行われていますが、昔の言葉が多いため広東語をしゃべる人々にも理解が難しいそうです。ただし、言っていることがわからなくても、劇のもとになっているお話を知らなくても高い評判と人気を集めているのが広東オペラです。広東オペラは2009年度人類無形遺産の一覧にも選ばれました。



### どこで見られる？

広東オペラは市内ホール、旧正月など何かお祝い事があるときでは公園で無料にみられることもあります。今回は3つの劇場を紹介します。



### 高山(コ・シャン)劇場

場所⇒何文田駅 A2 出口から徒歩 10 分  
値段⇒100 ドルから 420 ドル(日本円約 1450 円から 6000 円まで)

去年新しく広東オペラ専門でできた劇場です。数多くのオペラが公演されています。広い場所です。駅から行くときは少し混雑しました。

<https://www.lcsd.gov.hk/en/kst/> 公演時間などチェックして行ってください！

### 油麻地(ヤウマティ)劇場

場所⇒油麻地駅 B2 出口から徒歩 3 分  
値段⇒40 ドル、100 ドル、150 ドル(日本円 約 600 円、1450 円、2200 円)

1930 年にオープンした 100 年以上の歴史がある劇場です。駅からとても分かりやすい場所でした。営業時間は午後 1 時から午後 8 時までです。

<https://www.lcsd.gov.hk/en/ymtt/index.html> このウェブサイトでは公演時間などがわかります！



### サンビーム劇場

場所⇒北角 英皇道沿い  
値段⇒100 ドルから 1000 ドル(日本円で 1450 円から 14500 円)

1972 年に開幕、昔は商務印書館だった場所、がサンビーム劇場になりました。

<http://sunbeamtheatre.com/hk/> 専用のウェブサイトもあるので是非チェックしてみてください！

(作成：井上歩香)